



安曇野

市議会だより

第32号

発行 安曇野市議会
平成25年10月30日



新本庁舎周辺幹線道路開通式

主な内容

Contents

- ・平成24年度決算について……………2
- ・9月定例会で決まりました……………4
- ・平成25年第1回臨時会(7月)……………7
- ・議案等の審議結果……………8
- ・9月定例会一般質問・市政のここが聞きたい…9
- ・ピックアップ常任委員会……………18
- ・市民の声・編集後記……………20

市議会ホームページ

<http://www.city.azumino.nagano.jp/gikai/index.html>

議事録閲覧

http://www.gijiroku.jp/gikai/c_azumino/index.html



中学生議会

人口と世帯 平成25年(2013年)10月1日現在 ※()内は対前月比

人口: 99,165人(±0) / 男: 48,097人(-11) / 女: 51,068人(+11) / 世帯 37,940世帯(+36)

平成24年度 決算認定

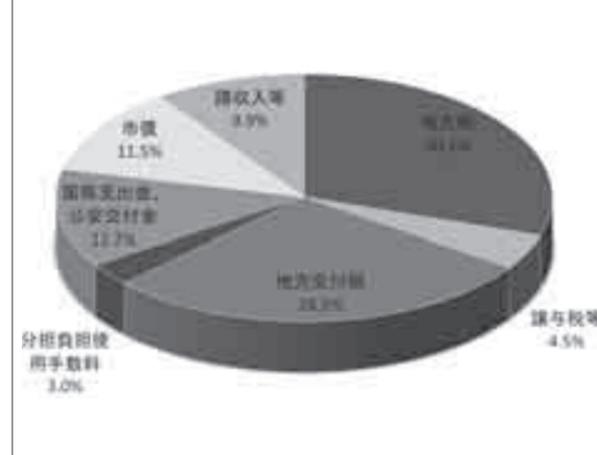
平成25年安曇野市議会9月定例会は8月21日開会し、会期28日間をもって9月17日に閉会しました。この間市長提出議案など92件が審議されました。

決算審議では、平成24年度の一般会計ほか、特別会計と下水道事業会計について審議され、すべてが認定されました。

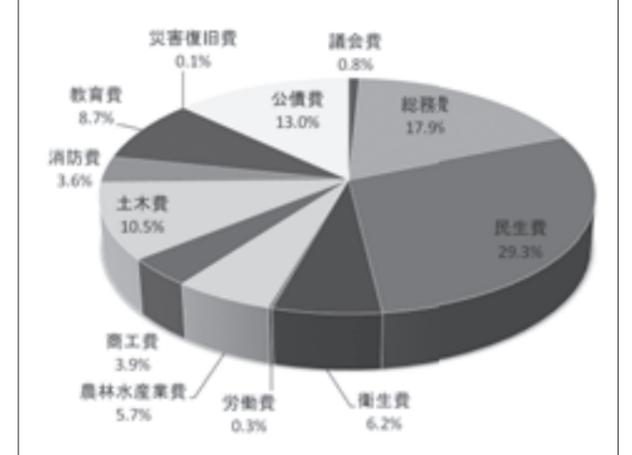


完成した明科総合支所明科公民館

一般会計歳入 378億8,300万円



一般会計歳出 371億400万円



歳出決算の主な増減内容 (平成23年度との比較)

| | | | |
|----------------|-----------|------------------|-----------|
| 介護給付費 | 1億1,291万円 | ほりで一ゆ〜改修工事 | 1億8,316万円 |
| 福祉医療費 | 1,122万円 | 道路維持・舗装復旧 | 5,599万円 |
| 生活保護扶助費 | 9,123万円 | 穂高東中大規模改造 | 1億8,076万円 |
| 子宮頸がん等ワクチン接種事業 | △5,434万円 | 公有財産購入費(グラウンド用地) | 1億4,608万円 |
| 新規就農者育成支援事業 | 1,629万円 | | |

一般会計・特別会計歳入歳出決算状況

(単位：千円)

| 会計名 | 歳入総額 | 歳出総額 | 歳入歳出差引総額 |
|-------------------------|------------|------------|-----------|
| 安曇野市一般会計 | 37,883,366 | 37,104,123 | 779,243 |
| 特別会計 | | | |
| 安曇野市同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計 | 1,430 | 1,184 | 246 |
| 安曇野市国民健康保険特別会計 | 10,430,655 | 10,054,087 | 376,567 |
| 安曇野市後期高齢者医療特別会計 | 901,254 | 884,355 | 16,899 |
| 安曇野市介護保険特別会計 | 7,728,598 | 7,706,134 | 22,464 |
| 安曇野市下水道事業特別会計 | 4,270,887 | 4,240,368 | 30,518 |
| 安曇野市農業集落排水事業特別会計 | 191,526 | 189,047 | 2,478 |
| 安曇野市上川手山林財産区特別会計 | 3,836 | 2,568 | 1,267 |
| 安曇野市北の沢山林財産区特別会計 | 2,386 | 2,138 | 247 |
| 安曇野市有明山林財産区特別会計 | 1,275 | 224 | 1,050 |
| 安曇野市富士尾山林財産区特別会計 | 1,106 | 154 | 952 |
| 安曇野市穂高山林財産区特別会計 | 1,050 | 158 | 891 |
| 安曇野市産業団地造成事業特別会計 | 61,394 | 61,260 | 133 |
| 総計(一般会計+特別会計) | 61,478,763 | 60,245,800 | 1,232,955 |

質疑

特定健康診査等実施状況について

Q 平成24年度までに特定健康診査の受診率65%を達成するという、この国が定める目標を達成できなかったのはなぜか。

A 第1次の特定健診の計画等をつくって努力をしてきた。しかし、国の目標数値が余りにも高過ぎてこれは安曇野市だけではなく、他の自治体もほとんどが達成できなかった。第2期の特定健康診査の実施計画を基に努力していきたい。

Q 他部署との横断的な連携はどうか。

A 特定健診を実際に受け持っている健康福祉部や、地域の健康づくり推進員、医療機関とも連携をしながら進めていく。



地域公民館・体育施設の単価差について

Q 公民館の活動が活発化しているのは嬉しいが、公民館の使用料が地域により単価の差が大きいのはなぜか。また、体育施設の地域間の使用料の差はなぜ生じるのか。

A 全体的に利用件数、使用料が増加している。公民館は、使用料収入を利用件数で割り返すと差があるが、利用件数の中には減免を受けた団体も多くあり、減免を受けた団体の使用が多い施設は使用料が減り、差が生じている。また、体育施設の関係は地域ごとの体育館やグラウンド数の施設の数に差があるために生じる。ナイター照明や天候に関係なく使用できる使用頻度が多い施設の有無にも関係している。

補助金の反省と課題は

Q 空き店舗等活用促進事業、技術・製品等展示会出展事業補助事業等の補助事業の反省と課題は。

A 旧町村の助成事業見直しを含め、平成24年度に4制度を新たに追加した。産業団地進出企業との交渉段階でも有効であった。市内企業の留置及び誘致により、身近な雇用の場の維持・確保、そして拡大につなげていきたい。現行制度の検証、事業効果の確認、そして国の成長戦略とも連動して、ニーズに適切した制度の運用に取り組んでいく。



住宅使用料の不納欠損について

Q 市営住宅使用料は私債権なので、債権放棄するには議会の議決が必要ではないか。

A 会計上の処理として不納欠損したが、債権放棄はせずに債権の管理簿を作り管理していく。

Q 市民の目の届かない不納欠損が進むリスクを避けるためにも、市として債権管理条例等を定めることは考えているのか。

A 債権管理条例の制定に向けて、現在研修会や他市の条例等を参考に進めている。

生活保護費について

Q 生活保護の廃止増加はなぜか。

A 厚生年金の受給漏れに対する指導や、障害年金の受給指導など、年金受給に向けた指導などにより、生活保護の廃止が増加した。

討論

賛成

成果報告書を見ると、「反省と課題」のところ、今後の予算編成に役立てようという姿勢が見られ、評価できる。ただ、実質収支の金額が、安曇野市の標準財政規模から見ても必ずしも少ないとは言えず、今後、大きな実質収支額にならないような予算決算をしてもらいたい。しかし、この予算を否定するほどのものではないと考える。成果の報告等に課題が残っているからといって、反対すべきではない。行政はすぐにはいいか悪いかの結論が出ないので、時間をいただく中で成果はどうなっていくのか方向性を見ることが大事だと思うので賛成する。

反対

この決算では、道路の凍結・除雪の対応など安曇野市は寒冷地である認識が非常に弱い。市民の立場に立った形で見ていくことが必要である。自治体は、自主的、そして総合的に広く、市民の立場に立った行政を行うべきであり、この決算は市民の立場、また市民の利益に供しないので反対する。監査結果の内容で、起債の平準化が今後なされていかない方向に見受けられるため、反対する。



9月定例会で

主な議案(決算[P.2,3]、補正予算[P.6]以外)の質疑・討論の内容を紹介します。なお、討論

●議員提出議案

- 議員提出第10号 安曇野市議会委員会条例の一部を改正する条例
- 議員提出第11号 安曇野市福祉基金条例の一部を改正する条例
- 議員提出第12号 「山の日」の制定を求める意見書
- 議員提出第13号 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 議員提出第14号 長野地方裁判所支部における労働審判の開設を求める意見書
- 議員提出第15号 私立高校への公費助成に関する意見書



●条例

■税以外の公共料金の滞納処分などを定める条例 **可決**

～議案第68号 安曇野市税外収入金に対する手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例～

地方税法の事務取扱に準じた事務を行っている税外収入金、分担金、使用料、負担金等にかかわる条例の一部改正する。滞納処分は、第9条として新たに整理する。

Q 介護保険料を払えなくて困っている人から税並みに取り立てていくことだ。自治体の本来の趣旨からして地方税法改正に伴う条例改正だとしても、問題ありと思うが。

A 介護保険法の中で滞納処分ができる。手続等を条例の中に明記する。まず督促状を発行、通知をし、差し押さえをするということである。

反対討論 公共料金の一つである介護保険料を厳しく取り立てていく条例を定めれば、機械的に取り立てて、福祉的な配慮に欠けることになる。払いたくても払えない人がふえている中、事情をよくつかみ、納付者の立場で丁寧な対応をすべきと考えるので反対する。

賛成討論 これまでは市の対応が統一的ではなく、さまざまな根拠法があるにもかかわらず、そういった知識も乏しく、手続的にも明確にされていなかった。全ての市民に対して公平に料金の徴収することを定めたもので、必要なものだ。払えない人の対応は別に定めるべきものであり、賛成する。

●請願

■穂高総合支所・三郷総合支所の再検討を求める請願 **不採択**

～請願第8号 安曇野市穂高総合支所・三郷総合支所の建設事業計画の再検討を求める請願書～

賛成討論 市長は、足りないところは建て増し、あるいは増築なり新築としていた。しかし、本庁舎を建設して、さらに総合支所はあり方を検討して、明科支所を9億7,000万円で建てて、三郷も穂高もということではいいのか。耐震補強工事や不具合を直せば穂高支所は使える。市民の合意を得るためにも再検討するのは当たり前。公の施設全体で約120億円(うち市庁舎が約80億円)の建設経費がかかっている。福祉施設の充実の方が先なので、賛成する。

■明科の漏水対策を求める請願 **採択**

～請願第10号 明科の水道漏水対策を早急に求める請願書～

Q 有収率が異常に他の地域より低いという報告は受けている。この明科水道漏水対策はどうなるのか。

A 50%近くが漏水となっている現状等を調査する必要がある。事業計画を作成するには少なくとも1年かかる。第1次拡張事業が終わるころ、平成28年頃までには全体計画を示し、必要であるとすれば順次やっていく。

決まりました

のあった議案と請願9号は請願8号を除き、賛成多数で原案通り可決、採択されました。

●指定管理者

■豊科近代美術館 **可決**

～議案第126号 公の施設の指定管理者の指定について(安曇野市豊科近代美術館)～

反対討論 公益財団法人安曇野文化財団が受けて5年だが、この財団は豊科町時代から、村田コレクションをはじめ問題の解決ができていない団体である。公の関与が直接できない状況のまま指定管理者に委ねることになることから、市の直営で運営、管理、維持することが望ましいので反対する。

賛成討論 平成17年9月、地方自治法の一部が改正され、民間企業等の経営感覚を取り入れた公の施設の活性化、経費の節減等で指定管理制度が導入された。平成24年4月1日現在、市内506施設のうち82施設が指定管理されている。チェック体制、モニタリング制度の構築、顧客満足度の向上、アンケート評価と問題点の検証を行い、指定管理候補者の選定は選定委員会で評価の配点がされており、管理が効率的、合理的であり、市民への質の高いサービスが期待できるので賛成する。



増築された豊科近代美術館

■穂高陶芸会館 **可決**

～議案第129号 公の施設の指定管理者の指定について(安曇野市穂高陶芸会館)～

反対討論 なぜ再び外部委託をするのか理解できない。第126号に準じて財団が指定管理者となる問題点があり、指定を受ける団体としてふさわしくない。市の直営のままでよい。来年の4月1日からの期間なのに、十分な議論を尽くすという場面がない。穂高にある陶芸会館が外部委託、市の直営、そして再び外部委託というやり方が本当に教育の場でふさわしいのか。外部委託、市の直営という考え方も、公の責任の所在というものを明確にする必要があるので反対する。

賛成討論 新たに財団がこの指定管理者になるということは、いろいろの要素がある。選定委員会が妥当だという判定を下した。豊科の財団が他地域にまたがってこういう指定管理を受けていくのは、これからもいろいろ課題があり、ほかの手法もあるだろうが、現状でこの財団に指定管理することに妥当性があるので賛成する。

●市職員給与削減

■議案第134号 安曇野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 **可決**

反対討論 労働組合との真摯な協議をされ妥結したが、実際には2級以下の方が月3,513円、そして平均でも月1万2,715円減となる。市民とのサービスの最先端にいる市職員は、人勸で連続減らされている。民間ベースも減ることになり、購買力が落ちることになる。景気回復どころではないと考えるので反対する。

●請負契約

■穂高会館耐震補強工事の3つの契約 **可決**

～議案第135号 穂高会館耐震補強等改修工事建築主体工事請負契約について～

～議案第136号 穂高会館耐震補強等改修工事電気設備工事請負契約について～

～議案第137号 穂高会館耐震補強等改修工事機械設備工事請負契約について～

反対討論 耐震化、分離分割発注はいいが、市のコンセプトはどこにあるのか。方針が一貫していない。総合支所と公民館の複合施設はあるが、ここは体育館と公民館で14億円を超える金額を使っているのかと考えるので反対する。

賛成討論 これは契約案件でありこの金額で落札されたものであるので賛成する。

凍霜被害支援へ!!

平成25年安曇野市議会第1回臨時会（7月30日開会）

●議案第66号 平成25年度安曇野市一般会計補正予算（第3号）

補正予算額 歳入歳出それぞれ1,200万円を追加
内容：凍霜害緊急対策事業費に要する経費の増額

◆質疑

Q 予算額1,200万円提示の内容は。

- A ①農作物等災害緊急対策事業 304万円
②果樹経営緊急生産維持対策事業 241万3千円
③被害農産物販売促進事業 35万円
④被害農家支援事業 619万7千円である。

Q 被害対策会議での農家からの要望は。

A 品質低下の中で集果状況をしっかり把握して、不公平感のない対応を検討していく。所得補償ではなく、労務経費的な部分で公平感のある補助は考えていきたい。

Q 国・県の支援はどうなっているか。

A 県から緊急対策事業として支援があったし、今後いろいろな対応を考えていると思う。国には陳情してあるし、要望もしていきたい。



凍霜被害で変色した梨

環境経済委員会審査報告

| | |
|--------|--|
| 議案第66号 | 平成25年度安曇野市一般会計補正予算（第3号） |
| 審査内容 | 特に、異議はなく、全員賛成で、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定いたしました。 |

●議案第67号 三郷南部保育園建設事業建築主体工事請負契約について

平成25年安曇野市議会第1回臨時会（7月） 審議結果と議案の賛否一覧

| 議員氏名 | 賛成：○ 反対：× 議：議長（可否同数以外採決に加わらない） 欠：欠席 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 結果 | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|-------|-------|------|------|------|-----|------|------|------|-------|------|------|------|-----|-------|------|------|-----|----|------|------|------|------|------|------|------|---|------|
| | 荻原勝昭 | 小松洋一郎 | 猪狩久美子 | 畠山倉光 | 小松芳樹 | 藤原陽子 | 高橋浄 | 山地重雄 | 召田義人 | 内川集雄 | 相田登美枝 | 小林紀之 | 小林純子 | 松澤好哲 | 松尾宏 | 下里喜代一 | 平林徳子 | 松森幸一 | 浜昭次 | | 黒岩宏成 | 宮下明博 | 吉田満男 | 丸山祐之 | 藤原廣徳 | 山田高久 | 高山一榮 | | |
| 議案第66号 平成25年度安曇野市一般会計補正予算（第3号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | 議 | 原案可決 |
| 議案第67号 三郷南部保育園建設事業建築主体工事請負契約について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | 議 | 原案可決 |

補正予算が決まりました

平成25年度安曇野市一般会計補正予算(第4号)

補正予算額 7億0,000万円
補正前の予算額 390億7,800万円
補正後の予算額 397億7,800万円

主な歳入について

- ・普通地方交付税 8億1,462万1千円
- ・児童手当国庫負担金 2,562万6千円
- ・学校施設整備事業補助金 1,202万2千円
- ・農業費補助金 2,353万7千円
- ・林業費補助金 900万6千円

主な歳出について

- ・直売加工施設運営事業 3,689万9千円 (Vif穂高増築工事外)
- ・担い手支援事業 1,500万円 (機械等整備)
- ・緊急経済対策事業 1,500万円 (住宅助成事業補助金)
- ・松くい虫被害対策事業 9,616万6千円
- ・消費拡大対策事業 512万円 (凍霜害被害果外)

◆質疑

Q 凍霜害、ひょう被害の支援について伺う。

A 7月の臨時会では、JAが実施する地力を回復する肥料代ということで、1反歩当たり2俵のうち2分の1を補助した。今回の補正予算では被害果実の出荷補助として200万円を補助するものである。これからのサンふじ等の出荷状況を把握する中で、12月以降3回目の追加補正を考えていく。



Q 松くい虫被害対策事業において、24年度決算で約7,500万円、25年度の補正予算で約9,600万円お金を使っているが、その効果及び今後の対策について伺う。

A マツノマダラカミキリ虫が媒介するため、被害木については早期の伐倒薫蒸を継続的に実施してきた。今後は可能な限り全量枯損木を駆除した後地区の合意を得ながら効果的な空中散布を実施していきたい。

<参考> 平成24年度の伐倒薫蒸防除は全体の70%しか処理できなかった。



松くい虫防除空中散布

■安曇野市の松くい虫被害発生状況

| | | 被害量 (m) | | | | 平成24年度 | |
|------|----|---------|-------|-------|-------|-----------------------|-------|
| | | H20 | H21 | H22 | H23 | 被害量 (m ³) | 割合 |
| 安曇野市 | 豊科 | 22 | 19 | 79 | 223 | 765 | 16.0% |
| | 穂高 | 63 | 160 | 99 | 121 | 635 | 13.3% |
| | 三郷 | 305 | 101 | 108 | 163 | 65 | 1.3% |
| | 堀金 | 33 | 6 | 11 | 35 | 51 | 1.1% |
| | 明科 | 1,498 | 2,671 | 4,247 | 3,888 | 3,269 | 68.3% |
| | 計 | 1,921 | 2,957 | 4,544 | 4,430 | 4,785 | 100% |

市長は平成25年度当初予算案を議会に提出する折、その概要説明では、「産業の活性化と観光戦略」の位置づけで温泉施設整備事業を提出した。昨年の11月22日突然、徳高地域にある3施設、いわゆる住民福祉の中心となる、しゃくなげ荘、温泉健康館、老人保健センターの利用実績が健康福祉部より提示され、そのことが温浴施設整備のメインコンセプトのように受け取れる説明がされている。元々位置づけが「産業の活性化と観光戦略」に対する基本的ビジョンと温浴施設の設計シミュレーションは、真つ先示すべきではないのか。

市長は平成25年度当初予算案を議会に提出する折、その概要説明では、「産業の活性化と観光戦略」の位置づけで温泉施設整備事業を提出した。昨年の11月22日突然、徳高地域にある3施設、いわゆる住民福祉の中心となる、しゃくなげ荘、温泉健康館、老人保健センターの利用実績が健康福祉部より提示され、そのことが温浴施設整備のメインコンセプトのように受け取れる説明がされている。元々位置づけが「産業の活性化と観光戦略」に対する基本的ビジョンと温浴施設の設計シミュレーションは、真つ先示すべきではないのか。

市長は平成25年度当初予算案を議会に提出する折、その概要説明では、「産業の活性化と観光戦略」の位置づけで温泉施設整備事業を提出した。昨年の11月22日突然、徳高地域にある3施設、いわゆる住民福祉の中心となる、しゃくなげ荘、温泉健康館、老人保健センターの利用実績が健康福祉部より提示され、そのことが温浴施設整備のメインコンセプトのように受け取れる説明がされている。元々位置づけが「産業の活性化と観光戦略」に対する基本的ビジョンと温浴施設の設計シミュレーションは、真つ先示すべきではないのか。

市長は平成25年度当初予算案を議会に提出する折、その概要説明では、「産業の活性化と観光戦略」の位置づけで温泉施設整備事業を提出した。昨年の11月22日突然、徳高地域にある3施設、いわゆる住民福祉の中心となる、しゃくなげ荘、温泉健康館、老人保健センターの利用実績が健康福祉部より提示され、そのことが温浴施設整備のメインコンセプトのように受け取れる説明がされている。元々位置づけが「産業の活性化と観光戦略」に対する基本的ビジョンと温浴施設の設計シミュレーションは、真つ先示すべきではないのか。

市長は平成25年度当初予算案を議会に提出する折、その概要説明では、「産業の活性化と観光戦略」の位置づけで温泉施設整備事業を提出した。昨年の11月22日突然、徳高地域にある3施設、いわゆる住民福祉の中心となる、しゃくなげ荘、温泉健康館、老人保健センターの利用実績が健康福祉部より提示され、そのことが温浴施設整備のメインコンセプトのように受け取れる説明がされている。元々位置づけが「産業の活性化と観光戦略」に対する基本的ビジョンと温浴施設の設計シミュレーションは、真つ先示すべきではないのか。

市長は平成25年度当初予算案を議会に提出する折、その概要説明では、「産業の活性化と観光戦略」の位置づけで温泉施設整備事業を提出した。昨年の11月22日突然、徳高地域にある3施設、いわゆる住民福祉の中心となる、しゃくなげ荘、温泉健康館、老人保健センターの利用実績が健康福祉部より提示され、そのことが温浴施設整備のメインコンセプトのように受け取れる説明がされている。元々位置づけが「産業の活性化と観光戦略」に対する基本的ビジョンと温浴施設の設計シミュレーションは、真つ先示すべきではないのか。



市長は平成25年度当初予算案を議会に提出する折、その概要説明では、「産業の活性化と観光戦略」の位置づけで温泉施設整備事業を提出した。昨年の11月22日突然、徳高地域にある3施設、いわゆる住民福祉の中心となる、しゃくなげ荘、温泉健康館、老人保健センターの利用実績が健康福祉部より提示され、そのことが温浴施設整備のメインコンセプトのように受け取れる説明がされている。元々位置づけが「産業の活性化と観光戦略」に対する基本的ビジョンと温浴施設の設計シミュレーションは、真つ先示すべきではないのか。



ハード・ソフト事業施策に市長の考えをどう反映するのか

平濱 昭次

市長は平成25年度当初予算案を議会に提出する折、その概要説明では、「産業の活性化と観光戦略」の位置づけで温泉施設整備事業を提出した。昨年の11月22日突然、徳高地域にある3施設、いわゆる住民福祉の中心となる、しゃくなげ荘、温泉健康館、老人保健センターの利用実績が健康福祉部より提示され、そのことが温浴施設整備のメインコンセプトのように受け取れる説明がされている。元々位置づけが「産業の活性化と観光戦略」に対する基本的ビジョンと温浴施設の設計シミュレーションは、真つ先示すべきではないのか。

Table with columns for '議案等' (Proposals) and '議員氏名' (Council Members). It lists various proposals and indicates support or opposition from each member.

平成25年安曇野市議会9月定例会審議結果

【市長提出議案等】

Table listing proposals from the Mayor, including proposal numbers, titles, and results (e.g., '承認' - Approved, '受理' - Received).

Table listing other proposals, including proposal numbers, titles, and results.

Table for '【請願】' (Petitions), listing petition numbers, titles, and results.

Table for '【陳情】' (Petitions/Complaints), listing petition numbers, titles, and results.

Table for '【議員提出議案】' (Proposals from Council Members), listing proposal numbers, titles, and results.

区への交付金は公平に交付されているのか



平丸山祐之

問 今後、市民と行政の協働という考え方の中で、自治区の果たす役割は大きい。市長も大いに期待していると思うが、それには各区が市から公平に扱われていなければならぬ。交付金の交付基準はどうなっているのか。また加入世帯の定義はどのようなものか。

企画財政部長 安曇野市区等交付金交付規則にはこのケースが加入世帯であると明文化してはいない。市のルールとしては、区費を納めている世帯だけでなく、区費減免世帯などでも文書が配布されている方、区の行事に参加される方、あるいは高齢世帯で行事とか参加されない方もありますが、そういう方々を加入世帯として取り扱っている。区の交付金の申請時に予算書等を確認しつつ、区の実情を見ながら区の所属世帯として認めている。区の加入世帯のカウントについては、地域の区長会

でしっかりと説明している。区長会だよりで加入世帯の考え方を記載し、83区の区長に理解をいたしておくようしている。

問 交付金交付対象世帯は区費を払っている世帯のみというのが一般的理解ではないか。例えば老健施設入居者で住民登録されている方の扱いについてはどうなるのか。

企画財政部長 区の活動の中で、市の文書などを老健施設へ届け、理解していただくこともやっている。申請時に行政と区の信頼関係の中で説明を受け、区の活動の一環として加入世帯として認めていけば、そう扱っている。交付金のもととなる加入世帯について、区長会だより等でしっかりと83区の区長に情報共有してもらおう。

福祉基金条例について
問 附則3、使途の特定「施行日の前日までに合併前の豊科町、穂高町、

三郷村、堀金村及び明科町が積み立てた基金は、それぞれ合併前の当該旧町村の福祉の増進のみに使うものとする」という規定は今や不要であるから削除すべきではないか。基金の多い少ないにかかわらず、必要な施設は優先度を考慮し、計画的に進めてきた。財源手当てはほとんどなかったかどうか。

市長 指摘のとおりで同感である。基金は旧町村によって4億円から600万円と大変差がある。それぞれの地域毎に保育園等のハード事業に活用してきて、お金がないからといって放置しておけない。条例改正をして、次年度以降、市全体の福祉基金の目的に沿ったソフト事業にも活用していきたい。

【その他の質問事項】
○合併協定項目の進捗状況について

備などエリアを西半分中心に今後考えたい。既存の地域資源と組み合わせ、民間商業施設との連携、特に幹線道路整備などにより、一層滞在時間が増加する仕組みづくりにつなげたい。さらにスライオン上部に展望台の設置等検討し、できることから進めたい。

【その他の質問事項】
○黒沢川の桜並木について

○いじめ対策や児童虐待と教育現場について

問 黒沢川周辺は、安曇野市南部地域として一大観光拠点と考える。観光客の誘客に関して可能性を秘めた土地柄だが、せつかくの景観も畜産臭気により台無しとなる。この夏は暑い日が続く、特にお盆前後に私のものへも匂いの苦情が相次いでいるのか。でなければ思い切った施策が必要ではないか伺う。

市長 三郷地域の悪臭対策については就任以来、市が抱える重点課題の一つとして取り組んできた。悪臭は市民の生活環境に支障を与える点では大きな影響があることから、畜産農家に設置されている浄化槽の適正な運用、それから糞尿を素早く処理していただく、長いあいだ停滞させないシステムの移行など、専門家の意見を交えながら対策を講じてきた。乳酸菌液を使った悪臭低減作業もほぼ毎日行ってきた。

問 三郷スカイラインを上り大滝山、蝶ヶ岳への登山道は絶景であり、その麓のアグリパーク等を含めた観光を総体的にどのように考えているのか。

市長 林道や登山道の整

る。今後も、このモデル事業は継続し、畜産振興と市民との共生をどのように目指していくかという課題にも取り組む中、畜産農家へは自助努力をお願いしながら、市も支援をし環境を整えていかなければならない。

農林部長 乳酸菌の悪臭対策効果については、松本農業改良普及センターで実施した室内試験では、悪臭物質の一つであるアンモニアに対しては、一定の低減効果があることが確認された。ただし効果的な散布場所の特定や、良質な乳酸菌の製造方法等の課題もあり、今後は信州大学農学部との協力を頂きながら、検証を進めていく。

問 三郷スカイラインを上り大滝山、蝶ヶ岳への登山道は絶景であり、その麓のアグリパーク等を含めた観光を総体的にどのように考えているのか。

市長 林道や登山道の整



松を伐採し眺望が開けた室山山頂

消費税増税問題について



日本共産党安曇野市議団 猪狩久美子

問 来年4月には8%、再来年10月には10%へと消費税が増税される。年金暮らしの人、個人商店主は増税されたら大変だ。市民の暮らしが深刻な状況に陥ってしまう消費税増税は中止すべきと考えるが、市長の考えは。

市長 法律上、増税は決まっている。首相や国の動向を見守る以外にない。社会保障制度の財源としての概念を、国民に丁寧の説明することが必要だ。十分な説明や議論がないままだと、慎重にならざるを得ない。

問 アベノミクスの重点政策は社会保障について聖域とせず見直す、としている。高齢者の自己負担の見直し、年金給付額の抑制、生活保護費の引き下げ、介護保険制度の改善。こうした中身が社会保障の充実といえるのか伺う。

市長 年金、医療費、介護、少子化に対処するための施策に要する費用と

して消費税を含む税制の抜本改革をするとされている。国会でしっかりと議論し、目的が達成されるよう努力してもらうことだと思う。

問 地方公共団体は住民の福祉の増進を図ることを基本としている。消費税増税は社会保障が最も必要な低所得者ほど重くのしかかる税制だ。これを地方自治体の税財源とするのは、住民の福祉増進と相反するのではないか。

市長 社会保障制度を守る財源として、国民に十分な説明が必要だ。

臨時職員の待遇改善について
問 平成25年4月1日現在、正規職員数748人、非常勤職員数693人で693人のうち346人が健康福祉部、273人が教育委員会に所属している。この部署は子どもたちの命や成長、発達、学びに深く関わる専門部



署だ。この職員が非常勤職員で良いのか市長に伺う。

市長 保育士の業務は大切な園児を預かり、成長を支援する責任の重い仕事であること認識している。平成20年度に全般的に待遇を見直し、有資格者は大幅な改訂を図った。今後も配置と待遇について見直ししていく。

問 保育士、子ども発達支援相談室の専門職など、今までの経験や実績を評価し、正規職員として採用すべきではないか。

総務部長 保育士の採用は新卒卒と経験卒を設けている。平成24年度は39歳までの人を対象に経験卒として3人の保育士を正規採用した。

問 889億円の借金は市民一人当たり8万9千円の借金であり、毎年10億円返しても88年9ヵ月もかかる。また、借金時計では一月74億円、一日2億4000万円、一時間1000万円になる。国保会計では年収200万円以下の人が89・6%に増え、正規と非正規雇用の賃金差も問題である。また、最大の問題は借金で、これでは「箱だけのもの」行政では「箱だけの人」ではないか。そこで、①基金残高10億円を使い、国民健康保健税を一家で1万円値下げをするのはどうか。1億4000万円ですむ。②医療費を高校生まで無料化できないか。以上の具体的提案について伺う。

市長 財政計画を見直し、身の丈にあった財政運営を行う。施設整備は市民が望むものであり、庁舎建設、保育園建設は市民の財産である。財政

は極めて健全で安心の市政である。高校生までの医療の無料化は考えていない。

市民環境部長 全国的な問題であり、国保制度自体の問題である。インフラエンザ等の流行に備えて基金の確保は必要であり、今年度、来年度は今の税率を維持する。

明科の水道漏水50%をどうするか
問 三郷の濁り水や、マングン等の水道水問題は人災ではないか。水源転換での供用開始はいつか。また、明科の水道漏水対策はどうするのか。

市長 人災かどうかは定かではないが、今、原因究明のために水道管カメラ調査を実施している。三郷水道は今年6月に送水管工事を発注し、来夏ごろには温・明盛地区で地下水利用になる。27年度の早い

時期に活用できるよう進めている。明科の配水量の半分近くが漏水していることは認識している。放置はできないので、長期的な視点で漏水対策布設替え工事を総体的に検討する。

霜災害から農家を守れ
問 凍霜・ひょう被害で果樹共済加入者支援と非加入者へ、予想される約10億円の被害に、せめて1億円ぐらいの支援が出れないか。



霜被害リンゴ園視察

黒沢川周辺の環境整備・観光戦略と臭気対策について



公明党 小松芳樹

る。今後も、このモデル事業は継続し、畜産振興と市民との共生をどのように目指していくかという課題にも取り組む中、畜産農家へは自助努力をお願いしながら、市も支援をし環境を整えていかなければならない。

農林部長 乳酸菌の悪臭対策効果については、松本農業改良普及センターで実施した室内試験では、悪臭物質の一つであるアンモニアに対しては、一定の低減効果があることが確認された。ただし効果的な散布場所の特定や、良質な乳酸菌の製造方法等の課題もあり、今後は信州大学農学部との協力を頂きながら、検証を進めていく。

問 三郷スカイラインを上り大滝山、蝶ヶ岳への登山道は絶景であり、その麓のアグリパーク等を含めた観光を総体的にどのように考えているのか。

市長 林道や登山道の整

る。今後も、このモデル事業は継続し、畜産振興と市民との共生をどのように目指していくかという課題にも取り組む中、畜産農家へは自助努力をお願いしながら、市も支援をし環境を整えていかなければならない。

農林部長 乳酸菌の悪臭対策効果については、松本農業改良普及センターで実施した室内試験では、悪臭物質の一つであるアンモニアに対しては、一定の低減効果があることが確認された。ただし効果的な散布場所の特定や、良質な乳酸菌の製造方法等の課題もあり、今後は信州大学農学部との協力を頂きながら、検証を進めていく。

問 三郷スカイラインを上り大滝山、蝶ヶ岳への登山道は絶景であり、その麓のアグリパーク等を含めた観光を総体的にどのように考えているのか。

市長 林道や登山道の整

る。今後も、このモデル事業は継続し、畜産振興と市民との共生をどのように目指していくかという課題にも取り組む中、畜産農家へは自助努力をお願いしながら、市も支援をし環境を整えていかなければならない。

43億円の借金を収入に入れた決算は6億円の黒字か？



日本共産党安曇野市議団 松澤好哲

は極めて健全で安心の市政である。高校生までの医療の無料化は考えていない。

市民環境部長 全国的な問題であり、国保制度自体の問題である。インフラエンザ等の流行に備えて基金の確保は必要であり、今年度、来年度は今の税率を維持する。

明科の水道漏水50%をどうするか
問 三郷の濁り水や、マングン等の水道水問題は人災ではないか。水源転換での供用開始はいつか。また、明科の水道漏水対策はどうするのか。

市長 人災かどうかは定かではないが、今、原因究明のために水道管カメラ調査を実施している。三郷水道は今年6月に送水管工事を発注し、来夏ごろには温・明盛地区で地下水利用になる。27年度の早い

時期に活用できるよう進めている。明科の配水量の半分近くが漏水していることは認識している。放置はできないので、長期的な視点で漏水対策布設替え工事を総体的に検討する。

霜災害から農家を守れ
問 凍霜・ひょう被害で果樹共済加入者支援と非加入者へ、予想される約10億円の被害に、せめて1億円ぐらいの支援が出れないか。

市長 果樹共済加入促進を図り、現在20%補助している農家の掛け金の補助率増額を検討したい。また、県や国へ支援を要請している。

は極めて健全で安心の市政である。高校生までの医療の無料化は考えていない。

は極めて健全で安心の市政である。高校生までの医療の無料化は考えていない。

市の農業強化策は



信進クラブ

黒岩 宏成

問 安曇野市農業地面積約7000haをどう守り振興するか。

市長 ①中山間地の耕作放棄地は「山林」に戻すか。②土地利用計画の用途区域内の農地、豊科地域62・4ha、穂高地域86・5haは計画的に開発するか。

市長 ①中山間地の耕作放棄地は、農地利用に最大限努めつつ、所有者の同意に基づき森林へ編入を進めたい。②都市計画法上で指定された用途地域の中の農地は計画的に開発を進めることを基本とする。

問 農業農村振興計画推進委員会の推進体制は。

農林部長 安曇野市農業・農村振興計画を実施性あるものにするため、取組状況を点検、評価する組織として、条例に基づき、PDCA方式で行う。

問 畦畔の草刈が、規模拡大・効率化への最大のネックである、対策は。

農林部長 国の成長戦略で、農地の借り受け、貸付の中間的受け皿として、農業生産の手引書が来年から発足されるが内容は、



農林部長 国の成長戦略で、農地の借り受け、貸付の中間的受け皿として、農業生産の手引書が来年から発足されるが内容は、

業の約3分の1であり、大きな課題である。今後市農業再生協議会で検証モデルに取り組み。国の農業強化策として、農林水産地域域活力創造本部会議で「総理」が指示をしている内容は、
農林部長 ①生産現場、担い手農地の強化として、今後10年間で農地面積の8割が担い手で利用しコストを4割削減する。②需要のフロンティアの拡大として農林水産物、食品の輸出額を4500億円から1兆円にする。③6次産業化の市場規模を1兆円から10兆円にする。
問 仮称「農地中間管理機構」が来年から発足されるが内容は、
農林部長 山林所有者、地域と話し合い、守るべき松林を空中散布を視野に検討する。

討されている。
問 TPP参加で安曇野市の影響額の試算は。
農林部長 県と同様に、聖域とされる米、麦、牛肉、豚肉を除くと2億9千万円の減少となる。
問 家食の再生として、コメの消費拡大として「お弁当の日」は、
教育次長 「お弁当づくり」をきっかけに、食育活動をさらに高めたい。
問 松くい虫被害の少ない西山山麓の対策を早急にできないか。
農林部長 山林所有者、地域と話し合い、守るべき松林を空中散布を視野に検討する。

指定管理者制度は市職員・市民のために使われているか



日本共産党安曇野市議団

下里 喜代一

問 なぜ当市は指定管理者制度——公の仕事をする人がやらないで第三者がやること——を多用するののか。

市長 民間の創意工夫、経験を導入し、行政サービスの質の向上、利用者の満足度を高め、多用とは捉えていない。

問 市立南穂高児童館——指定管理先は市社会福祉協議会——のモニタリング評価結果（平成23年度）では、評価点CやBと低い「個人情報保護」「事故防止の体制構築」「市民の雇用」等がある。なぜ毎年度、総括しないののか。
健康福祉部長 モニタリングは2年に一度、満足度調査は毎年実施している。事業内容の統一、運営方法の確認等を実施し、チェック体制は整っている。
問 現場でものごとの解決がすぐ当たれない。評価結果が示唆しているが、
総務部長 アウトソーシングは2年に一度、満足度調査は毎年実施している。事業内容の統一、運営方法の確認等を実施し、チェック体制は整っている。

問 市職員のスキルアップに基づき、行政組織のスリム化、経費削減、事務処理・業務の効率化、サービス・自治意識の向上を実施している。
問 「知恵を出し、自ら行動する姿勢がないのでムダが多過ぎ。他者、他所に任せ過ぎ」「真剣に討議し、市民の福祉向上を強力に進めてほしい」と的を射た声がある。憲法・地方自治法の条文・精神は、「健全な発達の保障」「住民の福祉増進」「自主性自立性を十分發揮」を能率的、民主的にすすめることである。市民からみて指定管理者制度はマイナスではないか。
総務部長 地方自治法24条4項で指定管理者制度の規定がある。担当部局から公募・非公募をあげ、指定管理者審査委員会の審査を経ており、サービスの低下を招かないように、地元の雇用は大事であり、チェックはされている。
問 市職員のスキルアップ



保育士さんは子どもたちにとってかけがえのない存在 (明科北保育園運動会)

「市民の雇用」等がある。なぜ毎年度、総括しないののか。
健康福祉部長 モニタリングは2年に一度、満足度調査は毎年実施している。事業内容の統一、運営方法の確認等を実施し、チェック体制は整っている。
問 現場でものごとの解決がすぐ当たれない。評価結果が示唆しているが、
総務部長 アウトソーシングは2年に一度、満足度調査は毎年実施している。事業内容の統一、運営方法の確認等を実施し、チェック体制は整っている。

三郷の水道事業について



信進クラブ

平林 徳子

問 水道水にマンガンによる濁りが出ているが、考えを伺う。

市長 原因究明のためカメラによる管内調査を、マンガンが沈澱しやすい小倉地区から始めた。カメラ調査の委託料と配水管修繕費で計1114万円である。

問 ①本管内部の調査②管内の洗浄作業について対策を聞きたい。
上下水道部長 ①小倉地区4カ所の調査でマンガンの層が厚さ0.5ミリから1ミリで確認され、はがれやすい状況である。洗管を実施する必要性を感じている。②球状の特殊樹脂製のピグというボールを管内に入れ通過させることによる物理的摩擦による洗浄を検討している。

問 対応について聞く。
①広報の方法。②安全性。③説明会の開催。④料金の減免。⑤給水袋。⑥架装給水車（現在1台のみ）。

上下水道部長 ①新聞折り込みと同時期に回覧もすべきであった。広報車2台で実施したが不足であった。②濁りの状況に差があり広報の難しさを痛感した。今後慎重に判断することと職員の電話対応の体制を整えたい。
③原因等の状況を広報する。管の洗浄の際は地域での説明会も必要となる。④全戸一律の減免については検討中である。⑤10ℓ袋は重く使いにくいので23年度に6ℓ袋を2千枚用意したが今回使いきった。2ℓのペットボトルも用意したが使いやすく安価であった。⑥自然災害等に備えて是非増やしたい。
問 水源転換事業は。より上水道部長 工程を更し温・明盛地区は来年8月頃、小倉と上長尾野沢の一部は27年度末の予定である。
道路の整備について
問 三郷一級5号線は、

松本広域森林組合の所から歩道整備の進展がないが計画について伺う。
都市建設部長 今年度用地買収をし黒沢川まで、28年度を目途に完成させ、その先は現事業完了後に新たに組みたい。
問 小倉梓橋停車場線の道路側溝については。
都市建設部長 予算に限りがあると聞くが施工箇所を増やすよう安曇野建設事務所に要望した。
問 三郷479号線千国橋の架替とその前後の道路改良については。
都市建設部長 千国橋は延命措置をし、S字カーブをゆるく修正し見通しをよくする。
【その他の質問事項】
○男女共同参画の推進



保育料にみなし寡婦控除を



無所属連合

小林 純子

問 婚姻歴のないひとり親（シングルマザー、ファザー）には所得税法の寡婦（夫）控除が適用されないため、地方税、国保税、市営住宅使用料、保育料等の算定に当たり不利益を受けている。日弁連は婚姻歴のないひとり親が控除の対象外とされているのは人権侵害だと、国や自治体に救済措置を求めているが、これに代わってみなし寡婦（夫）控除を導入する自治体がある。自治体の裁量で決められる保育料について、みなし寡婦（夫）控除を採用する考えはないか。
市長 所得税非課税世帯にあっては、ひとり親世帯への軽減策を講じているが、この拡大については子育て支援の一環として、その必要性を検討していく。

るなら、保育料についてみなし寡婦（夫）控除を適用すべきである。それに必要な安曇野市の財政負担もさほどではない。
市長 今後審議会に諮り、十分検討を重ね理解を得たなかで条例改正を経て決定をしていきたい。
産廃施設の防音壁
問 北小倉の産廃物処理施設の防音壁について、市は独自に調査する必要に迫られ現地調査を実施した。その結果、基準未満の部分17カ所あり、震度5に耐えられない構造との報告がされた。しかし、報告書には幾つか疑問点があり、危険性を軽く評価しているとの疑念が拭えない。市は増田建設産業に対して補強改善の要望書を、県には許可権者としての適正な処置を求める要請書を提出したというが、現実の危険な状況を鑑みれば、補強では不十分ではないか。
企画財政部長 本庁舎建設にあわせ台数を削減し大型コピーに切替える予定である。今年8月の契約では単価1枚1円である。



産廃物処理施設、防音壁に関する調査報告書

安曇野市の平和教育について



常念会 内川 集雄

問 本年も安曇野市として、市内中学生20名を広島に派遣した。中学生の平和についての作文を聞き、実に意味ある派遣であり、継続をしていくと市長は述べている。どうして広島に行くのか、今後も広島が続くのか、市長に伺う。

市長 市の平和記念行事として8月6日、広島平和祈念式典へ市内中学生代表20名を派遣した。人類初めて原子爆弾が投下された場所。今日の平和と繁栄が戦争による尊厳犠牲の上に築かれていく。命の尊さや平和を愛する心を考える場として広島が適していると考えられる。引き続き広島への派遣は続けさせていた。初めに戦争の悲惨、原爆投下された広島市の悲惨を知り言葉が失うほどの衝撃をうけました。市内中学生の作文の一節。広島だけが続けていたならば、次代を担う若者は、戦争と原爆の

悲慘さを訴え続ける同一的な方向に向かうため、広島以外の地も平和教育のなかで活用して頂きたい。安曇野市で育つて、陸軍航空特別攻撃隊特攻作戦にて戦死された上原良司。特攻で亡くなった1036名、長野県30名、安曇野市3名上原良司様(徳高)、浅川様(堀金)、飯田様(豊科)(浅川、飯田様兩名については、ご遺族の了承を得ていないので名字のみ)特攻隊員が書いた遺書、手紙、その奥にあるものをしっかりと、子どもたちに見て戴きたい。ぜひ、安曇野市も知覧(鹿児島県南九州市)に行く考えはないか。



園庭内にフェンスがある保育園

市長 長崎、沖繩などには平和記念のための公園施設があり、県内には戦争遺跡として、松代大本営地下壕がある。戦争を知らない若い世代が歴史的な事実を実際に見て触れること、平和について考える機会として広島派遣を続ける。

松本糸魚川連絡道路建設促進・安曇野建設事務所存続を



常念会 山田 高久

問 松糸道路は期待度の高い道路である。公共事業削減が続いていたが国では強靱な国土づくりを掲げ今年秋の補正予算への期待が高まっているなか、松糸道路が未だ受け皿が整っていないもどかしさが感じられる。とりわけ安曇野市の取り組みが消極的である。取り組みの現状と今後について伺う。

市長 松糸道路は市の発展・振興に必要であると捉えている。本年3月よりやく基本的な考えが明らかになったが、従来現道を活用するとしていたのが、規格の高い道路と明記されたわけ、事業主体は県にあるのでより丁寧な説明をお願いしているところ。県と十分調整を図り進めたい。

問 建設事務所存続にむけ松糸道路始め事業量のアップを考えたい。市長 地域にとって重要な事務所、市内における事業促進のため事務所存続は大切である。各事業の要望をしていく。

市長 松糸道路は市の発展・振興に必要であると捉えている。本年3月よりやく基本的な考えが明らかになったが、従来現道を活用するとしていたのが、規格の高い道路と明記されたわけ、事業主体は県にあるのでより丁寧な説明をお願いしているところ。県と十分調整を図り進めたい。

問 米食文化の再生による米消費拡大を(戦後自虐史観が食生活にも出ている)。国酒の清酒で乾杯はどうか。○学校給食は地産地消の考えですべて米飯給食にすべきでは。市長 美田を残すことは大切である。イトーヨーカドー等通じ販売にともめている。足元から拡大を進める。

問 米食文化の再生による米消費拡大を(戦後自虐史観が食生活にも出ている)。国酒の清酒で乾杯はどうか。○学校給食は地産地消の考えですべて米飯給食にすべきでは。市長 美田を残すことは大切である。イトーヨーカドー等通じ販売にともめている。足元から拡大を進める。

松くい虫被害木処理事業

更新伐の検証を



信進クラブ 宮下 明博

問 更新伐という新しい事業を取り入れていただき感謝をする。1年たつて現状を見、調査をしてみると色々な不安が出てきた。バイオマス発電所を含めた一連の事業の見直しを問う。

市長 事業期間3年間で可能な限り行いたい。本年は9月以降発注で40haを予定し、来年度は集約化できた面積を取りまとめて予算化を予定している。バイオマス発電所は県との連携という事で予定通り進むものと考えている。

問 破碎チップにする費用と、それを塩尻まで運ぶ運賃はどうするのか。農林部長 買い取り価格1㎡当り8千円、1万1千円の売却費で補う。

問 事業費に対して市の負担が約57%というのは大変なことだ。3年間でどの範囲まで出来るのか。農林部長 明科川西地区の約300haを想定し、毎年40haをめどに整備を



予定している。事業費に対しては、県に財政支援をお願いしている。問 新たな植栽、またチップにして運ぶなど最初の説明とだいぶ違った内容になっている。行政が途中でギブアップする訳にいかないのか、伐採、搬出、新たな植栽まで一連の事業をしっかりとした計画を立ててやっていただき、支援を国にも要請する必要があると思うがどうか。市長 議会の皆さんともども県、国への要望活動を強めていきたい。

明科地域水道料金の大幅値上がりがある。全市民的な視野で考え、合併特例債を適用していただきたいが、こういった条件が整った時に適用できるのか。上下水道部長 特例債を活用するには出来るだけ早く事業認可を統一して安曇野市の水道事業を一本化することが大前提である。将来的には豊科から明科にかけての配水系統を統合し、一本化することが効率的。それが可能か検討している。

明科地域水道料金の大幅値上がりがある。全市民的な視野で考え、合併特例債を適用していただきたいが、こういった条件が整った時に適用できるのか。上下水道部長 特例債を活用するには出来るだけ早く事業認可を統一して安曇野市の水道事業を一本化することが大前提である。将来的には豊科から明科にかけての配水系統を統合し、一本化することが効率的。それが可能か検討している。

問 以前質問し、継続しているものについて進捗状況を含め確認を主に質問し、今後の安曇野市政の方向と考え方を伺う。市長は、穂高総合支所のあり方について、庁内で検討中であると3月議会に答弁があった。その後穂高総合支所の最終的な方向について伺う。市長 穂高総合支所の場所および規模等については、委員会、審議会等の提言、報告を踏まえて、現在慎重に検討中である。

問 穂高総合支所の場所は入らないとのことであるが、南隣のテニスコート土地を検討しているか。総務部長 選択肢の一つ。現在検討はしていない。



穂高総合支所の行方は？

長期化している課題と

市長の政治姿勢について



平松 尾宏

問 現在の運動広場下流への造成を含めて関係機関と協議、調整し整備の方法、仕様等を総合的に今後検討する。

問 2年間で3人次長が交代した。前任の次長が予算計上したが査定で落ちたと聞くがどうか。教育次長 そのような形で検討したと聞く。問 平成20年12月の定例会で最終処分場と、悪臭の問題を同時に質問した。処分場の地元との協定は26年9月までだが、残りの許容量と対応は。市民環境部長 32年度ぐらいまで埋め立て可能。問 悪臭解決の約束の中で、延長が可能か。農林部長 基本的には改善策を講ずること。補完的な対応は、乳酸液の散布、散水の取り組みを進めているという、現在の状況である。

問 今後の見直しを伺う。市長 悪臭対策の難題が

防災・減災対策の強化について



公明党 松森幸一

問 改正された災害対策基本法の要援護者の避難支援について、市町村に義務づけられた災害時要援護者の名簿作成、情報提供に必要な本人の意思確認の進捗状況を伺う。

の質問で答弁があったが、近隣自治体に比べて取り組みが遅れているが、健康福祉部長 23年度から取り組んできたが若干の遅れがある。今年度、郵送により対象者の意思確認の実施、手挙げ部分についても対応したい。

度化を待つだけでなく生活現場に直結している自治体が対応すべき課題であると考える。市の対応についての見解を伺う。



無所属連合 吉田満男

公共施設・道路・上下水道等の老朽化対策について

問 三郷地域の水道水の濁り水対策について。上下水道部長 水道水の濁りの原因を究明するためのカメラ調査については、本日、4カ所を予定し実施している。昨日までの2日間で9カ所の調査が終了している。場所

止する観点から、健全性の点検を行い、老朽化で危険な箇所を把握し、計画的な修繕対策を実施する。事業費も平準化を図り、安全な道路ストックの維持管理に努める。また、橋梁の長寿命化計画を策定し修繕を実施している。

化を図って建て替えのサイクルを延ばすことで費用を抑えていく、今後、実施計画に基づき必要な改修工事を順次行っていく。



完成間近な穂高東中学校大規模改修工事



無所属連合 萩原勝昭

豊科近代美術館の名称変更とまちづくりについて

問 本年のゴールデンウィークの期間中に県内への観光客の入り込み数は280万2千人(昨年は5.6%増)で安曇野市は19万1千人(昨年比5.9%減)であった。市長はこの現象をどのように見ているか。

はそれぞれ関係者、各方面と時間をかけて十分議論をし、慎重に取り扱っていくべき課題と

して文化や文化財については豊かな自然、魅力的な文化が数多くある



無所属 相田登美枝

新高齢時代、安曇野モデルを

問 デマンドタクシー「あづみん」も6年目、延50万人突破と大好評。一方、豊科と明科の福祉バスは無くなった。運行エリア5カ所の料金を市内全域300円に統一する時ではないか。

要望事項については、利用者側参画のもと、綿密な検討を経て現在に至っている。ニーズ、経費についての試算はまだ、していない。

な施策は考えられないか。健康福祉部長 福祉員は社協の組織であるが、市と社協と連携しながら地域福祉を進めていくよう取り組んでいる。

問 安曇野インターに豊科インターから名称変更したことに関連して更に豊科近代美術館増築工事が竣工するこの機会を捉えて安曇野市立美術館に名称変更することはどうか。

を増やしていくためには安曇野市内に発信力のあるものをそろえていかなければいけないと思うが外から見て発信力のあるもの・オンラインのもの

型観光に結びつけていく。観光資源のツールと



問 地域公共交通協議会負担金として、5千7百万円余が支払われている。その「あづみん」を

要する観点から、健全性の点検を行い、老朽化で危険な箇所を把握し、計画的な修繕対策を実施する。事業費も平準化を図り、安全な道路ストックの維持管理に努める。また、橋梁の長寿命化計画を策定し修繕を実施している。

問 これらの維持管理経費を含む今後の財政計画について。企画財政部長 毎年策定する実施計画に従い計画的に反映させ、緊急性等年度間の平準化に努めながら計画的に行っていく。



仲間といっしょ、カラオケ教室で

福祉教育委員会審査報告（抜粋）

| | |
|-----------|---|
| 議案第 97 号 | 平成 24 年度 安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について（福祉教育委員会所管事項）（賛成多数で認定） |
| 審査内容 | （原案に反対の意見） ・南部多目的運動広場の用地購入については、安全面で非常に問題があるという点において賛成できないので、この認定については反対する。 （原案に賛成の意見） ・南部多目的運動広場については既に認めたことである。行政側がそれののちって履行した決算の認定について、異議を唱えるということはいかなるものかと思う。これについては認めるべきであるので賛成する。 |
| 議案第 101 号 | 平成 24 年度 安曇野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について（賛成多数で認定） |
| 審査内容 | （原案に反対の意見） ・給付制限の実施という厳しい措置は、暮らしを脅かすことになってしまい、福祉が行うことではないと思う。保険料が上がるということは、わずかな年金で暮らしている高齢者にとっては大変厳しいものである。暮らしが大変になり、命に係わる内容にまで及んでいく可能性もあるのでこの内容には反対する。 （原案に賛成の意見） ・制度に基づく事業の運営と、生活が苦しい困窮者をどうするかということ、同一の事業で全てを解決することは無理である。それにはまた別の施策を講じるのが行政の福祉のあり方ではないかと思うので、この決算認定については賛成する。 |
| 陳情第 2 号 | 有明運動場並びに穂高立足マレットゴルフ場への水洗便所設置について（全員賛成で採択） |
| 審査内容 | （意見） 他のスポーツ施設との兼ね合いや公平性を考え、計画的に進めていってほしい。 （採択に賛成の意見） ・ある程度経費のかかることは間違いないが、対外的に使う機会があるということであれば、快適に利用してもらうために整備を進めていくべきだと思う。 |
| 陳情第 4 号 | 私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情書（賛成多数で採択） |
| 審査内容 | （採択に反対の意見） ・部分採択がないとすると、私学助成の大幅増額という表現については反対したい。 ・今後は私学自体も自助努力が必要になってくる。教育の平等性ということから、いくらかの支援は必要ということで、現在、就学支援金が支給されているのでこの陳情には反対する。 （採択に賛成の意見） ・教育を受けるための機会均等は大変重要であり、また私学は独自の教育内容を行っているということでは大変努力していると思う。そういった私学への支援は今後も続けていくべきであり、国や県に対して意見書をあげていくということは大事なことだと思うので賛成する。 |

建設水道委員会審査報告

| | |
|-----------|--|
| 議案第 76 号 | 安曇野市道路占用料条例の一部を改正する条例（全員賛成で可決） |
| 議案第 77 号 | 安曇野市営住宅条例及び安曇野市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例（全員賛成で可決） |
| 議案第 80 号 | 安曇野市公共下水道事業受益者負担に関する条例及び安曇野市下水道事業受益者分担金徴収条例の一部を改正する条例（全員賛成で可決） |
| 議案第 81 号 | 安曇野市公共下水道条例の一部を改正する条例（全員賛成で可決） |
| 議案第 82 号 | 安曇野市水道事業給水条例の一部を改正する条例（全員賛成で可決） |
| 議案第 83 号 | 平成 25 年度 安曇野市一般会計補正予算（第 4 号）（建設水道委員会所管事項）（全員賛成で可決） |
| 審査内容 | （要望） 子どもにわかりやすいようにイラスト（絵）を入れた公園の遊具に注意書きのステッカーとする。貼る高さにも配慮した安曇野市独自の基準を設けるよう要望する。 |
| 議案第 88 号 | 平成 25 年度 安曇野市下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）（全員賛成で可決） |
| 議案第 89 号 | 平成 25 年度 安曇野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）（全員賛成で可決） |
| 議案第 96 号 | 平成 25 年度 安曇野市水道事業会計補正予算（第 1 号）（全員賛成で可決） |
| 議案第 97 号 | 平成 24 年度 安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について（建設水道委員会所管事項）（全員賛成で認定） |
| 議案第 102 号 | 平成 24 年度 安曇野市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について（全員賛成で認定） |
| 審査内容 | （要望） 汚泥のリサイクル、有効利用を検討して汚泥の処理委託料を減らして欲しい。 |
| 議案第 103 号 | 平成 24 年度 安曇野市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について（全員賛成で認定） |
| 議案第 110 号 | 平成 24 年度 安曇野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について（全員賛成で認定） |
| 議案第 133 号 | 市道の認定について（全員賛成で可決） |
| 請願第 9 号 | 明科の水道漏水対策を早急に求める請願書（全員賛成で採択） |
| 請願第 10 号 | 三郷地区に安心して飲める水道水の確保を求める請願書（全員賛成で採択） |

総務委員会審査報告（抜粋）

| | |
|-----------|--|
| 議案第 97 号 | 平成 24 年度 安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について（総務委員会所管事項）（賛成多数で認定） |
| 審査内容 | （原案に反対の意見） ・市債の現在高が増加しており、市民の生活を圧迫する内容である。24 年度事業の総括から展望がみえてこない。 （原案に賛成の意見） ・議会で認めた予算を市民のために執行した結果が報告され、反対する余地はない。本庁舎の問題については、議会の中でも民主的に議論し、かつ、予算の承認をし、その範囲で執行されており決算について認定する。 |
| 議案第 134 号 | 安曇野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（可否同数のため委員長採決により可決） |
| 審査内容 | （原案に反対の意見） ・国の施策としてデフレ脱却のための所得向上に向けて取り組んでいる中で、東日本大震災の復興財源の一部として職員の給与の減額分を補うのは、国が進めている施策の方向性と異なる。 （原案に賛成の意見） ・減額が東日本大震災の復興財源であり、また 6 カ月の期間限定としたこと、国との関係の中で交付税の減額の影響を考え賛成する。 ・自治体の職員の給与は、自治体が決定すべきものであるが、復興の財源として、また組合も妥結したという過程を尊重して賛成する。 |
| 請願第 8 号 | 安曇野市穂高総合支所・三郷総合支所の建設事業計画の再検討を求める請願書（賛成少数で不採択） |
| 審査内容 | （採択に反対の意見） ・2 支所の建設計画は、まだ案の段階であり、その再検討を求める請願であるが、その趣旨から、どのように使える建物を活用するかその具体的なものが示されておらず、案の段階である建設計画を単に再検討をとあっても、具体的な議論ができず反対する。 （採択に賛成の意見） ・前回は提出され、今回はその趣旨を明確にされて再提出された。建設するという方向性は決まっており、再検討していただきたいという市民の声を考慮し、慎重に対応すべきであり賛成する。 |

環境経済委員会審査報告（抜粋）

| | |
|-----------|---|
| 議案第 73 号 | 安曇野市霊園条例の一部を改正する条例（全員賛成で可決） |
| 議案第 83 号 | 平成 25 年度 安曇野市一般会計補正予算（第 4 号）（環境経済委員会所管事項）（賛成多数で可決） |
| 審査内容 | （原案に反対の意見） ・直売所加工施設の、V i f 穂高増築工事に関してであるが、現在計画中の温浴施設との関連をきちっと検討して、増設工事が無駄にならないように、しっかりとの方針を立てて協議を行い、予算計上していただきたい。 （原案に賛成の意見） ・V i f 穂高の売り場増築工事には問題ない。ただし、食堂など一部検討が必要と思われるが、今後は温浴施設の計画と協議をして進めてほしい。 |
| 議案第 95 号 | 平成 25 年度 安曇野市産業団地造成事業特別会計補正予算（第 1 号）（全員賛成で可決） |
| 議案第 97 号 | 平成 24 年度 安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について（環境経済委員会所管事項）（全員賛成で認定） |
| 審査内容 | （要望・意見） 松枯れ病対策、稲作の苗箱施薬剤についてであるが、安全で効き目が良いというネオニコチノイド系の農薬は多く使われているが、最近この農薬について危険性がとりざたされている。環境にも悪影響がとりざたされているし、またヨーロッパでは規制もかかっていると聞いている。農薬の安全性について研究しておいたほうが良い。 |
| 議案第 132 号 | 土地の取得について（温浴施設整備事業）（全員賛成で可決） |
| 請願第 6 号 | 増田建設産業の防音壁問題の早期解決について（全員賛成で採択） |
| 審査内容 | （採択に賛成の意見） ・請願事項の 1 「議会としても現場を見学し見解を示してほしい。」とあるが、議員の任期がせまってきていることも考えて、請願項目の 2、3 についてのみの採択としたい。 ・請願項目の 1 については、議会として最も重要な仕事であるため、統一見解が出るか出ないかに関係なくきちっと対応すべきであると考え。請願項目の 2 については業者のデータと市は業務委託した調査と比較検討するといっているが、ここには住民監視の調査資料も並べて比較検討すべきである。請願項目 3 については、市は今回、業者に要望書、県には要請書と考えているようであるが、不十分であると考えているので賛成する。 |

